

市長	副市長	部長	次長	課長	主査	合議
						 

第4回委員会の議事録（職員への聞き取り）について報告します



会議顛末書

会議名	第4回 保健福祉部障がい福祉課事案調査委員会（職員への聞き取り：石川主査）
日時	令和5年4月20日（月）9時00分～9時07分
場所	恵庭市役所2階 203会議室
出席者	<p>【委員長】 広中総務部長 【副委員長】 池田総務部次長</p> <p>【委員】 高橋明子課長（えにわっこ応援センター）、加賀谷主査（生活環境課）</p> <p>【事務局】 辰下課長、武田主査（職員課）</p> <p>【事務局補助】 小山主査、鈴木（障がい福祉課）</p>
内容	<p>《広中委員長》 当時のことについて聞き取りしたい。■■■■牧場や障がい者の方たちと関わった り、会ったことはあるか。</p> <p>《石川主査》 育恵会で年に1回、研修旅行のようなものがあり、市が事務局のお手伝いをし ていた関係で、バスの乗り降り等お手伝いしたことがある。</p> <p>《広中委員長》 この案件に何か関わっていたことはあるか。</p> <p>《石川主査》 自分の担当業務ではなかったので、当時、すべてを把握していたわけではない。 正しく理解もできていなかったのも、個人的に意見を持っていたこともなかった。</p> <p>《広中委員長》 先日、狩野課長より聞き取りを行った際、この件についての記録はあまり残っ ていないが、当時の障がい福祉課はみんな大きな声で話しをしていたから、状況 はみんなに伝わっていると言っていた。その程度か。</p> <p>《石川主査》 そうである。でも詳しくはわかっていなかった。</p> <p>《広中委員長》 何か携わっていたこともないか。</p> <p>《石川主査》 ない。</p> <p>《広中委員長》 先に聞き取りした二人から、当時、障がい福祉課とe-ふらっとはうまくいって いなかったと聞いているが、その認識についてはどうか。</p> <p>《石川主査》 あった。自分が異動してきた時から既にそういう関係性だったので、誰と誰が だめだったかはわからないが、協力できていないことはあった。</p> <p>《高橋委員》 平成28年7月から平成29年2月にかけてあったことについて、どのように 課の中で話がされていたのか、また記録を見た記憶などあるか。</p>

《石川主査》

課全体で話したかという、障がい福祉課としては話し合っていないと思う。

《高橋委員》

佐藤主査と熊谷（上山）さんが■■■■氏を訪問した後、こんな風だったよと狩野主査や石川さんがいるところで話す感じだったのか。

《石川主査》

そうである。何も話していないということではない。

《高橋委員》

記録は回覧していた記憶はあるか。





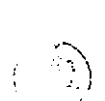
《石川主査》

はっきりと覚えていない。

《広中委員長》

以上で聞き取りを終了する。

以 上

市長	副市長	部長	次長	課長	主査	合議
						

第4回委員会の議事録（職員への聞き取り）について報告します。

会議顛末書

会議名	第4回 保健福祉部障がい福祉課事案調査委員会（職員への聞き取り：上山主査）
日時	令和5年4月20日（木） 9時10分～10時15分
場所	恵庭市役所2階 203会議室
出席者	<p>【委員長】 広中総務部長 【副委員長】 池田総務部次長</p> <p>【委員】 高橋明子課長（えにわっこ応援センター）、加賀谷主査（生活環境課）</p> <p>【事務局】 辰下課長、武田主査（職員課）</p> <p>【事務局補助】 小山主査、鈴木（障がい福祉課）</p>
内容	<p>《広中委員長》</p> <p>eふらっとに対して証拠保全の手続きがあったことなどは知っているか。</p> <p>その当時に実際にどういうことが起きていたか確認したくて聞いている。当時の熊谷主任が最初に関わったのは平成28年7月8日の記録にある、佐藤主査と熊谷さんがeふらっとに来て恵庭市内の農場で障がい者が3名住み込みで働いている…という口頭処理がスタートだったがどうか。</p> <p>《上山主査》</p> <p>明確な記憶がない。このケースについて課の中で「関わらなければならないね」と言っていた時期だとは思いますが、明確に佐藤主査とeふらっとに行ったという記憶はあまりない。おそらく付いていただけではないか。</p> <p>《広中委員長》</p> <p>12月27日の家庭訪問のことについて。</p> <p>《上山主査》</p> <p>覚えているが12月のことなのか、2月のことなのか明確に分けて記憶しているわけではないので、混ざるかもしれない。</p> <p>《広中委員長》</p> <p>12月27日の記憶について聞く。</p> <p>《上山主査》</p> <p>夏から関りを開始したが、12月までの間は■■■■氏から繁忙期のため面談の時間が取れないと言われ、延ばし延ばしになっていると感じたが、12月過ぎに手帳のことをきっかけに訪問となった。</p> <p>その時にもスムーズに家に入れてもらえず、障がい者の方とは外でお話をしたのだと思う。牛のために使っていたような洗い場のような場所で話をお聞きした。部屋についても入ったというよりは、外から見せてもらったという状況。</p> <p>《広中委員長》</p> <p>その時にどのようなやり取りをしたか覚えているか。</p> <p>《上山主査》</p> <p>何か困ってることがあったとの話は覚えてない。エピソードが強烈。わなを仕掛け鹿をとっている。</p> <p>環境的にきれいな部屋ではなかった。スーパーハウス上下と離れ。トイレは■■■■さんのところだけで、夜外に出るのが寒くていやと聞いた。</p>

本人たちから不満やお金のことなどは言ってない。服はばーちゃんが用意してくれるとか、服は与えられていた。環境についての不満も聞かれなかった。

《池田副委員長》

■■■■氏との接触は上山主査が対応したのか

《上山主査》

■■■■氏とのやり取りは私ではない。誰が担当か明確な記憶ない。言われて佐藤主査についていった。調整した記憶もない。

《池田副委員長》

e-ふらっとの記録で劣悪な環境であったとある。

《上山主査》

外からのぞいたところ床に直接布団が敷かれていた。劣悪と表現したかわからない。見たまま伝えたと思う。

《池田副委員長》

覗いて現認したということか

《上山主査》

本人たちに見るかと言われた。勝手に覗いてはいない。

《池田副委員長》

(担当者所感について確認。)年金の管理について確認できたか

《上山主査》

■■■■氏に年金について聞いてはみたが、通帳を見るとか残金など明確に確認できなかった。他の職親の■■■■さんや■■■■さんは残金など把握しており教えてもらっていた。

《池田副委員長》

課内での議論はあったか

《上山主査》

明確にはなかった。課内で議論するほど情報がなかった。

担当としては虐待認定しても、支援の方向性としては措置入所や立ち入り検査の権限だが、現状では想定できず通常支援でも解決する方法も探っていた。命の危険やすぐ逃がす等の判断であれば虐待認定が必要だが、本人たちが逃げたいとか、■■■■さんがもう置いておけない等の状況ではないため、3人別々になるかもしれないがグループホームも探していた

《広中委員長》

12月27日はそれ以上の話はなかったのか

《上山主査》

時間も15分と短く、ゆっくり話は聞けなかった。

《高橋委員》

帰ってきた後、席についてから課内で話をしたか。顛末書の決裁はどこまで上がったか

《上山主査》

私の話を聞いてもらうことはなかった。佐藤主査と狩野主査と訪問についてのやり取りはあったと思う。今後どうするとの課としての見解は出なかった。

顛末書の決裁はどこまで上がったか覚えていない。

《広中委員長》

仕事納め・新年となったが、1月26日から■■■■氏が総合相に行けず、狩野主査がe-ふらっとに頼んだことは覚えているか

《上山主査》

狩野課長が断られ怒っていた記憶はある。

《広中委員長》

e-ふらっとと障がい福祉課で一緒に訪問することを決め、2月8日に訪問するまでに何か記憶はあるか

《上山主査》

e-ふらっとが見たら連れていくのかとの議論はあった。見ていたら連れていくのであれば、e-ふらっとも関りがあった方が良いとの話もあった。

違う相談支援事業所を探しても良いのではと思っていた。

《広中委員長》

2月8日の事を聞かせてください

《上山主査》

向かう車の中で支援について話した記憶はない。

立派な別棟で■■■■さんと話をした。過去の■■■■氏の活動や功績の話が長かった。障がい者の生活状況については、服は買ってる、ご飯は食べている等の話はあった。お給料は生活費や食費と相殺になっていると聞いた。他の職親も同様に給料と相殺だった。本人の年金については通帳はあるということで、具体的な話はなかった。障がい者3名はe-ふらっとで対応していた。途中で合流しみんなで話した。

《広中委員長》

■■■■氏の話はe-ふらっとも聞いたのか

《上山主査》

e-ふらっとはいなかった

《広中委員長》

話はどちらが聞いたのか

《上山主査》

■■■■氏とは佐藤主査が聞いていた。

《広中委員長》

他の聞き取りからは、市としては障がい者支援としてまずは手帳の取得を考えていたがe-ふらっとは何もしないで虐待を主張していた。2月8日以降e-ふらっとは面談記録にも虐待に関する記載はない。e-ふらっとは話を聞いた中で虐待を主張していたが訪問後虐待について主張はあったか

《上山主査》

虐待として扱うことが認められてなかった。虐待の疑いやお金のことは何も明らかにならなかった。白かどうかの確認されず、疑いのまま曖昧になるのかと思っていた。なかった証拠もないがあった証拠もない。お金のことはあいまいなままだった。

4月に異動となるので、3人の生活が野性的で都会のグループホームはなじまないが、能力は高いがパソコン作業より農作業のあるグループホームを長沼方面を探していた。

課としても、このまま████牧場で過ごすよりも手帳を取得し本人たちにあったグループホームなどの生活の場を得るための支援は本人たちのためだと考えていたと思う。

今後のお金が明確になるためにもグループホーム入所を考えていた。

4月の判定に同行してくれるグループホームはないかと探していた。

《高橋委員》

グループホームは見つかったのか

《上山主査》

長沼の施設で了解されたが課内の反対にあった。なるべく早くグループホームに入れてあげたかった。その後4月になり異動となった。

《高橋委員》

12月27日の訪問で窓越しに見た部屋と、2月の訪問で実際に中に入ったのでは印象は変わったか。

《上山主査》

ストーブの周りに物があって危ないと思った。上で物を焼いたりできる昔のストーブで、障がい者がこのストーブの上で鹿肉を焼く話をしたり、自分たちで灯油を入れているとのことだったので危ないと思った。この環境が障がい者にとって最善だろうかと思った。部屋にはあまり物がなかった印象。

《広中委員長》

虐待という観点について、年金についてはわからないということだが、それ以外の身体的などの虐待の心配についてはどうか

《上山主査》

あざはなかった。障がい者も殴られているという話はしていなかった。痛いところはありますかと聞くと、怪我をしたという話をした人はいなかった。足がしもやけになっていると話した人はいたと思う。身体的な虐待の疑いはないのではないかと思った。心理的な虐待については、読めないと思った。障がい者には、明確に話せるような理解力はなかった。何十年の間で関係が家族ようになっていたので、仮に何か言われたとしても、訴えてこなかったし、嫌なことを言われたと理解できる人もいなかったと思う。虐待とは分からなかった。ネグレクトについてはわからない。この環境そのものが放任といえそうだろうし、3人とも同じ環境だったので、(████氏のことを)面倒を見ている障がい者をこのように扱っていいと思っている人なんだ、放置をしているというより、長年このような扱いをしてきた人なんだと思った。

《高橋委員》

2月8日4名で行って、どのような話をしたか。

《上山主査》

eふらっとと佐藤主査がどのような話をしたかはわからない。車の中では、障がい者はこの環境に慣れているので、今すぐ引き離すと一部の混乱が起きるのではないかと話したと思う。障がい者は████さんの奥さんをお母さんと呼んだりしていたので、ファミリー的な感じだった。

《高橋委員》

eふらっとも同じような考えで、明らかな虐待ということにはならなかったということか。

《上山主査》

今すぐ引き離すということにはならなかった。eふらっとが虐待と思っていた

かはわからないが、今、引き離そうという意見を言う人はいなかった。

個人的な感想だが、障がい者を連れて行ってってくれるところ（相談室 ■■■氏）を自分が見つけたのに、連れていってくれていけばよかったのではないかと思う。

《池田副委員長》

■■■さんのやり取りは、佐藤主査のところでは却下されてしまい、課長まですら上がらなかった。スタッフではあったけど、課長に訴えるという環境ではなかったのか。

《上山主査》

課長に何かを訴えようという気持ちはなかった。

《池田副委員長》

■■■さんと■■■さんのところにいた障がい者は母屋に住んでいたのか。

《上山主査》

■■■さんは外国人の技能実習生の部屋を母屋に持っていて、そのうちの一つ部屋に障がい者もいたのだと思う。■■■さんは障がい者の方のために母屋につながった離れを作っていた。豪華だった。

《加賀谷委員》

2月8日の記録は佐藤主査か、上山さんが作ったのか

《上山主査》

明確な記憶はないが、12月には自分が書いたので書いたとしたら自分が書いたのではないか。

《加賀谷委員》

事実をありのまま書いたのか、今後の方針まで書いて決裁の中で意思確認をしたのか。

《上山主査》

方向性は書いていないと思う。事実を書いたのではないか。

《高橋委員》

2月8日の後、なにか支援した記憶はあるか

《上山主査》

4月の総合相談の予約が入っていたのは覚えている。4月の判定を待って、手帳の取得を求めグループホームはどうするか、という流れなるのだと思っていた。

《高橋委員》

その支援に虐待という視点はあったか。

《上山主査》

最後まで疑っていたが、課の認識として虐待があったという結論は出していない。調査中という状態だったのではないか。決めきれなかった。

《池田副委員長》

証拠もなかった、判断しなかった、保留、ということか

《上山主査》

手帳を取得し、グループホームの話をする際に、入所料の話が出るので、どのように支払うのか、という話の中で、年金額を明らかにしたり、お金についても明らかになっていくのではないかと思っていた。

《広中委員長》

その流れになったが、令和3年となっていた。

《高橋委員》

なぜeふらっとは虐待だと盛り上がっていたのか。

《上山主査》

客観的な状況だけでは虐待は疑われるのではないかと思う。

《高橋委員》

その間、eふらっととなにかやり取りはしたのか

《上山主査》

私はeふらっとと仲が良くないといわれていた。

《広中委員長》

虐待だといって、手帳の取得に進まなかった印象があるのだが。

《上山主査》

手帳取得は札幌の総合相に連れていくことが難しかった。市の公用車に乗せるのも難しかった。別の障がい者はグループホームに入った後にその職員に総合相に連れて行ってもらっていたので、手帳が先か、サービス利用が先か考えた。障がい者は職親で■■■■牧場に来る前に児童相談所を通して報恩学園やもなみ学園にいて、判定の記録は報恩学園にはあったので、その判定記録でサービス利用はできるのではないかと私は考えた。

《高橋委員》

虐待の懸念はあったが、虐待の事実もなく、虐待の通報もなかったが、緊急性はなかった。課としての判断としてはなっていないが、それぞれ同じような認識で共有されていたということか。








《上山主査》

通報がないからコアメンバー会議をしなかったのではなく、課として緊急事態ではないととらえていたし、虐待とすぐにしなくて障がい者の支援の方策もあるのではないかと担当も思っていたし、虐待認定のためのコアメンバー会議を開くには情報が足りなかったということ。

《広中委員長》

以上で聞き取りを終了する。

以 上

市長	副市長	部長	次長	課長	主査	合議
						 

第4回委員会の議事録（職員への聞き取り）について報告します

会 議 顛 末 書

会議名	第4回 保健福祉部障がい福祉課事案調査委員会（職員への聞き取り：佐々木課長）
日 時	令和5年4月20日（月）10時20分～10時35分
場 所	恵庭市役所2階 203会議室
出席者	<p>【委員長】 広中総務部長 【副委員長】 池田総務部次長</p> <p>【委員】 高橋明子課長（えにわっこ応援センター）、加賀谷主査（生活環境課）</p> <p>【事務局】 辰下課長、武田主査（職員課）</p> <p>【事務局補助】 小山主査、鈴木（障がい福祉課）</p>
内 容	<p>《 広中委員長 》</p> <p>佐々木課長が一番初めにこの件にかかわったのは、平成28年7月8日、狩野主査と一緒に■■■■氏を訪問しているところだと思うが、この前の関わりはあるか。</p> <p>《 佐々木課長 》</p> <p>ないと思う。おそらくこの育恵会の方から電話があって初めて行った。</p> <p>《 広中委員長 》</p> <p>7月8日のことで覚えていることがあったら教えてほしい。</p> <p>《 佐々木課長 》</p> <p>その日最初に訪問した時は、■■■■氏がいなかったが、その後、本人と話している。記録のとおりだと思う。</p> <p>《 広中委員長 》</p> <p>そのときの印象はどうだったか。</p> <p>《 佐々木課長 》</p> <p>障がい者3名の住まいがスーパーハウスで、中までは見ていないが、そういうものがあるというのは見た記憶がある。</p> <p>《 広中委員長 》</p> <p>その後、12月の訪問や1月のe-ふらっととのやりとりについてなど、障がい福祉課の記録があまり残っていないが、課内でのやりとりはどのように記憶しているか。</p> <p>《 佐々木課長 》</p> <p>12月の訪問は記録が残っているが、その後、狩野主査が1月末にe-ふらっととやりとりしている部分は正直記憶がない。</p> <p>2月8日に障がい福祉課とe-ふらっとで■■■■氏を訪問していることについては、口頭で報告を受けていると思う。当時は、まず障がい者3名の手帳取得をさせるために■■■■氏を説得していた。その後、4月中には手帳が出そうだと報告を受けた記憶がある。</p> <p>《 池田副委員長 》</p> <p>市としては虐待という認識はなかったと思うが、e-ふらっとが虐待を主張してきた記憶はあるか。</p> <p>《 佐々木課長 》</p>

直接聞いた記憶はない。障がい福祉課としては虐待案件ではないという認識だった。障がい者3名は、良い環境ではなかったにせよ、まったく放っておかれているわけではなく、食事の提供もあり、本人たちも嫌がっている状況ではない中で、虐待という認識はなかった。

〈池田副委員長〉

「■■■■氏が元市議会議員（元議長）であったことがわかり、対応に気を付けるように達しがあったとのことである」とあるが。

〈佐々木課長〉

相手が誰であろうと対応は変わらない。注意するように言った記憶もない。

〈池田副委員長〉

虐待との判断も虐待でないとの判断もしていないが、障がい福祉課としての根拠はどうなっているのか。

〈佐々木課長〉

虐待案件ではない認識なので虐待としての結論は出さなかった。

〈広中委員長〉

組織としての判断は何もしておらず、虐待として対応することになっていない。課としての判断はしていない。

〈高橋委員〉

理事者への報告は？

〈佐々木課長〉

報告したかかどうか記憶はない。

〈広中委員長〉

以上で聞き取りを終了する。

以上